

市民国際プラザ・ダイジェスト

第79号（2017年6月12日発行）

一地域に飛び出す市民国際プラザ

〇～日本とブラジルを繋ぐアートの祭典「ブラジリアンアートフェスティバル」が大好評～

日時：2017年5月25日 場所：NPO法人ABT豊橋ブラジル協会

NPO法人ABT豊橋ブラジル協会（以下、ABT豊橋ブラジル協会）は豊橋市及びその周辺地域における日本人市民とブラジル人市民との交流・共存を目的に平成16年に設立されました。

昨年度豊橋市より、「**定住外国人就労支援事業**」の日本語研修を委託され、企業とのマッチングを望む定住外国人へ日本語教育を実施されました。準備期間が少なく、大変ご苦労されたそうですが、無事に5名の方が企業とのマッチングの機会を得ることができたそうです。「**企業も、外国人もこういった場を必要としている**」という手ごたえを感じたとのことでした。今年は準備に早く取り掛かれるそうなので、更に多くの外国人の方がマッチングに参加できると良いですね。

また、日本語教室だけでなく、**ブラジル人児童向けに母語である「ポルトガル語」も教えています**。日本生まれの子どもとその親にはポルトガル語にレベルの差があり、その為に親子で**コミュニケーション**が取り辛く、例えば進学についてなど込み入った話をすることが難しい場合があるようです。

こちらの建物内にはラジオ局があり、ラジオニッケイ(ウェブラジオ)の「愛知県警察の情報」を毎月放送されています。このラジオ局ですが、かつて東日本大震災の際には数日に渡り24時間に対応し、国内のブラジル人の方への情報発信だけでなく、**母国ブラジルの家族とを繋ぐ中継地点**になっていたそうです。

昨年初めて、日本とブラジルを繋ぐアートの祭典「**ブラジリアンアートフェスティバル**」を開催され、ブラジルポップカルチャーの代表格、バンド「パトフ」のヴォーカル、フェルナンダと絵画アーティストのサンドラによる歌と絵画のコラボイベントを実施し、参加された皆様から大好評だったそうです。

これからも日本人市民とブラジル人市民との交流が深まる場として、ますます発展していきそうですね。



〇～ダイバーシティの実践で「世界最高のスーツ」作りを目指します！～

日時：2017年5月26日 場所：豊橋市 アルデックス株式会社

アルデックス株式会社（以下、アルデックス）は昭和33年に愛知県豊橋市で創業した老舗の縫製工場で、現在では高級ライセンスブランドや有名セレクトショップのパターンオーダーのスーツをOEMで手がけている企業です。工場内では様々な工程で、手作業による決め細やかな、熟練した職人の技でオーダースーツが作られる様子を見学させていただきました。

アルデックス社では、**豊橋市が行う「定住外国人就労支援事業」**制度を利用し、2月から2ヶ月間の研修期間を経て、1名のブラジル人女性を正規雇用されました。

現在はスーツの最終プレスの工程を任されていて、私達のインタビューに、「**仕事は楽しい。仕事場は第2の家のようなところ**」と、嬉しそうにお答え頂きました。

アルデックス様では、**外国人だけでなく、障がいのある方や高齢者の方なども積極的採用を行い、それぞれが適材適所で、プロフェッショナルに働いておられます**。

短時間勤務の方も多いそうですが、3人でチームを作りワークシェアリングすることで上手く稼働しているそうです。

今後は、「**今回採用になったブラジル人女性の方に将来的にリーダーを担って頂き、ブラジル人チームができれば**」という、抱負をお聞きました。「**多様な人材が、多様な働き方ができる**」アルデックス社の取組みが、「世界最高のスーツ作り」の礎となり、また豊橋市のロールモデルとして豊橋市内の企業へも良い刺激となるといいですね。



○～今年のスタディ・ツアーはラオス！～「高校生・アジアの架け橋養成事業」

日時：2017年5月30日 場所：公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター

公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター（以下、HIECC）では、未来の日本を担う高校生が日本と開発途上国、特にアジアとのつながり等を学ぶとともに、海外での現地研修で、NGO団体や国際協力への取り組みの現場等を訪問・視察し、国際協力活動の体験等を通じて開発途上国が抱える課題に対し自ら何ができるかを考え、地域の将来を担う国際性豊かな人材育成を目的とする「**高校生・アジアの架け橋養成事業**」を実施されています。

昨年の海外スタディ・ツアーの訪問国はフィリピンで、参加した10名のうち、**3名が「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」で上位入賞**を果たされました。

本事業を開始されてから今回で8回目となりますが、今年はラオスを訪問地として予定しており多くの応募があったそうです。本プログラムの特徴は、スタディ・ツアーにただ参加するだけではなく、事前に礼儀作法、相手に対する質問の仕方や態度などのマナー研修を行い、終了後には参加者の所属高校から数校を選抜し、全校集会における報告会を開催するというグローバル人材を育成するための徹底したカリキュラムとなっている点です。

本プログラムに参加する事で人としても大きく成長し、進学へのビジョンにも大きく影響するほか参加者同士は生涯の仲間として強い絆が結ばれ、将来は地域の担い手として

「**アジアの架け橋**」のリーダーに成長する事も期待されます。

現在、第一期生には北海道庁でご活躍されている方もいらっしゃるそうです。



○～生活者目線で作られた「日本語教育通信講座」がパワーアップしそうです！～

日時：2017年5月25日 場所：津センターパレス3階 津市民活動センター

「特定非営利活動法人日本ボリビア人協会」様では、平成24年から「生活者としての外国人」のための日本語教育事業（文化庁からの委託）として、**自宅学習を希望する外国人に対し「通信講座」で日本語教育**を実施しています。



平日開催の日本語教室は仕事があるので通えなかったり、休日であっても女性は特に家事が忙しく、従来の集合型の教室にはなかなか通えません。そこで、「通信講座」であれば仕事をしながら、忙しい合間を縫って日本語が学習できます。通信講座用のテキストを見せていただきましたが、かわいいイラストに加えスペイン語と日本語で併記した説明がとてもわかりやすく、見ただけで学習意欲が沸くものでした。

代表理事の山田ロサリオ様によると、このテキストは「**自分の経験がたくさん詰まったテキスト**」なのだそうです。**生活していく上で困ったこと、知っていたら便利なこと、また災害時には普段見慣れない日本語、例えば「避難所」など、段階によって学習できるようになっています。**

3年間の事業が評価され、今年からまた新たに文化庁の委託を受けることとなったそうで、受講者も倍増し、この素晴らしいテキストを多言語化したらどうかというお話もあるようです。これからの更なるご活躍を期待しています。



市民国際プラザ 平成29年度の予定（平成29年6月現在）

第20回自治体とNGO/NPOの連携推進セミナー開催します！

今回のセミナーのテーマは、【**オリンピック・パラリンピックを契機にエシカルなまちづくりを目指す共生社会の指標SDGsとは？**】です。

・日 時：平成29年7月21日（金）13:00～17:30（受付：午後12時30分～）

※セミナー終了後に同会場にて、懇親会・名刺交換会を予定しています。17時30分迄（会費：500円）

・開催場所：（一財）自治体国際化協会 大会議室（東京都千代田区麴町1-7相互半蔵門ビル1階）

市民国際プラザを広く皆様にご覧いただくために、
市民国際プラザのFacebookに「いいね！」をお願いします♪
現在の市民国際プラザ「いいね！」数 **469件**



（一財）自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail international_cooperation@plaza-clair.jp